

【樹木・草花の部屋】

ヒガンバナ（ヒガンバナ科ヒガンバナ属 *Lycoris radiata*）

和名；彼岸花 **別名**；曼珠沙華、ハミズハナミズ 他多数 **英名**；Red spider lily
クサスギカズラ目 多年草

原産地；中国

花言葉；情熱、独立、再会、あきらめ

花の色；赤・黄・白



← **写真－1** ヒガンバナ

撮影日：2010年9月30日

撮影場所：奈良県橿原市

万葉の森にて

撮影者：Sさん

写真－2 ヒガンバナの花



撮影日：2010年9月30日

撮影場所：奈良県橿原市

万葉の森にて

撮影者：Sさん



← **写真－3** シロバナヒガンバナの花

撮影日：2012年9月20日

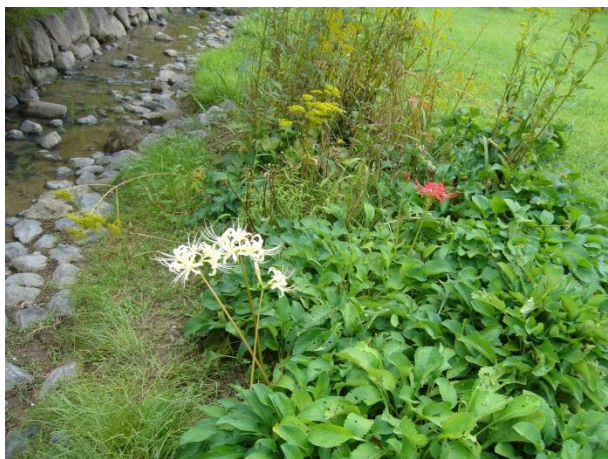
撮影場所：奈良県広陵町

馬見丘陵公園にて

撮影者：Tさん



【樹木・草花の部屋】



← 写真－4 シロバナヒガンバナとか
撮影日：2012年9月20日
撮影場所：奈良県広陵町
馬見丘陵公園にて
撮影者：Tさん

<ちょっと一言>

***この花は非常に沢山の呼び方が有り、400を超える呼び名があります。**

テンガイバナ、ステゴバナ、ケナシイモ、ハミズハナミズ
ソウシキバナ、ジゴクバナ（備前）、シビトバナ（京都）、ユウレイバナ（上越）
シンダモンバナ（埼玉）ジャランポングサ（群馬）、ワスレグサ（信州）、
ドクバナ、テグサリバナ、シビレバナ、シタマガリ、シタカリバナ、シビレ
ジュズカケバナ、ケサカケ（熊本）、ケサバナ（宮崎）、ヨメノカンザシ（和歌山）
ハコボレグサ、ハカケバアサン、テハレグサ、ヤクビョウバナ、ヘビバナ
キツネバナ（出雲）、カラスノマクラ（大阪兵庫）、チョウチンバナ（和歌山）等

*別名に「**ハミズハナミズ**」（葉見ず花見ず）とあるように、**花の時期には葉はなく、葉と花の時期が異なります。**葉が枯れ果て、夏の「休眠期」を経て、花茎が伸び、花を付けます。秋の短い「花期」です。花茎が完全に枯れ果ててから、細長い葉が現れてきます。秋から春先の「葉期」です。



← 写真－5 ヒガンバナの葉
撮影日：2013年3月17日
撮影場所：奈良県広陵町馬見丘陵公園にて
撮影者：Tさん
はじめて、ヒガンバナの葉を見ました。やはりハミズハナミズの通りです。

文学に出てくるヒガンバナ

- * 曼珠沙華あればかならず鞭うたれ
- * 葉みず花みず秋野に
ぽつんと咲いたまんじゅしゃげ
から紅に燃えながら
葉の見えぬこそさびしけれ

高浜虚子

中 勘助